

# 落語研究会 OB 会 薩摩林 紘子先生に感謝する会

平成25年7月28日（日）午前11時30分より飯田橋のホテル・メトロポリタンエドモントにて東京校、新潟校合同のOB会が13年ぶりに新潟校元顧問 薩摩林紘子先生を来賓にお迎えし盛大に開催されました。他のクラブOB会とは違い、多くの会員が在籍しているわけではありませんが、東京校落語研究会の創設者から新潟校最後の部長まで個性豊かな多くの先生方が日頃の技？を披露するため参集されました。

羽田宣裕先生（64回）司会の下、OB会会長・伊能 暁 先生（61回）、石川力哉先生（62回）より祝辞が述べられ、来賓の薩摩林 元教授より新潟校落語研究会の初代顧問は相馬先生であったことや、新潟校落語研究会創設には岡兄弟の多大な尽力があったからこそのお話があり、残念ながら平成6年より新入部員が入らず新潟校研究会は現在休会中であることや、先生の近況のお話があり、石川文一先生（57回）の乾杯の



懐かしい顔

挨拶で会は始まりました。

会場には本格的な緋毛氈と座布団が敷かれた神々しい高座があり、我行かんとばかりに落語会がスタートしました。一番手（くいつき）には新潟校の才色兼備の吉澤（旧 小川）さゆり先生（76回）の本格落語「ちりとてちん」（はなしに深みが増したなー）、二番手に弥郡彰彦先生（73回）の新作落語（素晴らしすぎてジェラシー）と続き、眩しすぎる多くの先輩方の小噺の連打に日頃の仕事を忘れ酔いしれてしまいました。その後も先生方の思い出話、近況報告とあり、元来話上手笑わせ上手な集団ですからそ



名人 口腔亭 炎症！  
（伊能 暁 先生）

れぞれの持ち時間もなんのその、今日は帰る気がしないという雰囲気では盛り上がりました。

最後に小島武志先生（70回）から5年後の再会のお約束と閉会の挨拶があり散会となりました。

（口腔亭 伸歯／山本晃一・75回記）



薩摩林先生と岡 重徳・博士（兄弟）先生